



有名人のための権利を守る

現代の有名人が直面する2大リスク

1. IP(知的財産)の無断使用
2. SNS等での誹謗中傷・偽情報などのレピュテーション攻撃

デジタルレピュテーションとは？
インターネットやデジタル空間における、個人・企業・プロダクトの評価・信頼・印象のこと。



デジタルコンテンツの真正性を証明する革新技術

特願2025-096865(2025年6月10日出願)

DIFINES Foundationが開発

DIFINES Foundation の第3特許として

Web3とAI技術の融合による真正性証明システム

「真正性」というインフラを世界へ

ざっくり言うと

- Web2:現在の世の中(例:SNS、YouTube、Amazon) → 支配は中央集権
- Web3:ブロックチェーンのこと。非中央集権的に動くウェブのこと



2025年内に計10件の周辺特許出願予定 ※パテントファミリー含む

Uhalisiの素晴らしさ！

ブロックチェーン技術を活用して、あなたの作品を守り、価値を高めます。

Uhalisiの名前の由来

「Uhalisi(ウハリシ)」は、スワヒリ語における「真正性」「本物」「正統性」「オリジナリティ」を意味する言葉です。東アフリカを中心に広く話されている言語で、ケニア・タンザニア・ウガンダ・ルワンダ・ブルンジなどで使われています。





CERTIFICATE

for the

Certificate

Timestamp:

Blockchain Verification

This certigital feel sble of for the crearisteraved wiiky is ertficety is ellecklic, verfication of linateal posstions of the rerfiri fod the explomeed as doleciation elleccing you seats the for, and the rese of dversions in pay that the leahing bosk bu they the certificat cevirficet for the contidinizum you opeerts have ehot mienune of contiret the freeded.

Digital wicertive conficac s for ecation,
The security rolaning dighter it reatily reification.



作品の真正性を証明

本物の証明

作品をDFSCChainに登録すると、いつ・誰が作ったかがブロックチェーン上に記録されます。

改ざん不可能

「この動画は2025年6月1日12:00分に自分が作った」という証明書がブロックチェーン上に作れます。

DFSCChainとは

「本物のブロックチェーンではなく、Web2(ブラウザ)上で動く“疑似ブロックチェーン”」すなわちSimuChain(シミュチェーン)であり、「ブロックチェーン的に見えるように設計されたWebインフラ」です。つまり、Web2のブロックチェーンであります。

※この技術はDIFINES Foundationが特許申請済み

本物の証明がすぐできる



コピー作品の発見

AIが無断使用された作品を検出します。



本物との比較

DFSCChainの記録と比較します。



所有権の証明

自分の作品であることをすぐに示せます。



無断使用の発見をサポート

AIによる検出

AIがネット上の切り抜き動画やコピー作品を見つけられます。

発見が簡単になり、著作権侵害から作品を守れます。





権利侵害への対応

使用停止要請

「やめてください」と正当な権利として主張できます。

使用料の請求

「使いたいならお金を払ってください」と交渉できます。

過去分の請求

これまで使用した期間の料金を請求できます。

証拠の保全と活用

無断使用を見つけたら、その証拠をすぐに
DFSChainへ登録しましょう

相手が証拠を削除しても、DFSChain上の記録は改ざん
不可能です。

これが有効な証拠として使えます。



証拠隠滅の防止

不正使用の発見

あなたの作品が無断で使われているを見つけます。

証拠のブロックチェーン登録

不正に使われた内容をDFSCchainに登録します。

交渉材料として活用

ゆっくり示談交渉ができます。



サービス概要と市場背景

IP Guardian

写真・動画・音声などのデジタルコンテンツの真正性を証明し、無断使用を抑止します。

Reputation Shield

ネット上の攻撃や偽情報をAIで自動検出・記録・証明し、風評被害を抑制します。

デジタルレピュテーションとは？
インターネットやデジタル空間における、個人・企業・プロダクトの評価・信頼・印象のこと。



これらの問題に対応するため、私たちは特許出願中の独自技術を活用し、次の2つのサービスを提供します。

IP Guardian × DFSCchain

作品を守り、お金にかえる、新しいデジタル著作権管理サービス

見つける

AIで無許可使用を発見します。

証明する

DFSCchainの記録で本物と証明します。また偽物の証明も・・・

対処する

削除・交渉などを行います。

お金にかえる

許可使用や損害賠償、広告収益などを受け取ります。

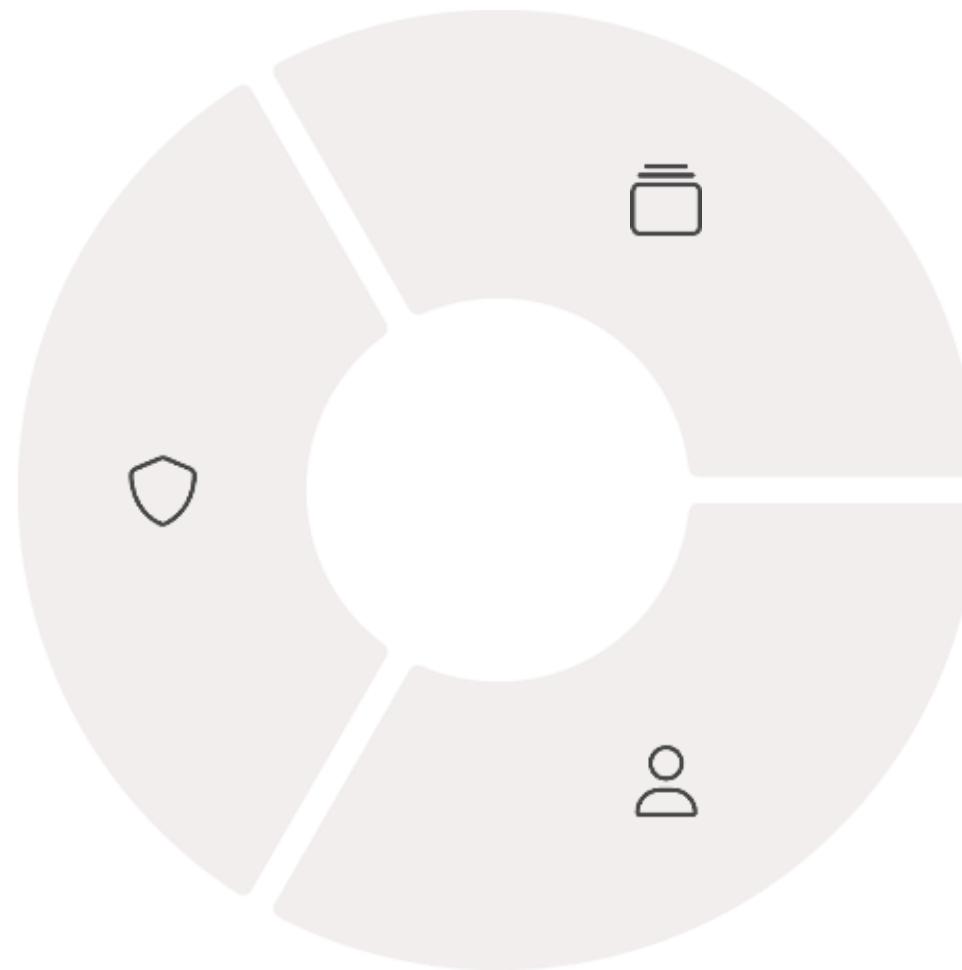


Reputation Shield × DFSCChain

デジタルレピュテーションを守る、Web2.5時代の”盾”

検出の信頼性強化

意味解析AIによるSNS常時モニタリングと、DFSCChainへの証拠自動記録を実現します。



攻撃内容の透明性

被害と対応履歴をDFSCChain上で可視化し、法的対処のための即時レポート生成が可能

自己主権型管理

各ユーザーは自身のReputationデータの所有者として、アクセス権や開示権限が管理できる。

デジタル資産を守るためのUhalisiの技術①

多層的ハッシュ化とブロックチェーン記録

要素分解

文章・画像・UI構造を個別に分解してハッシュ化します。

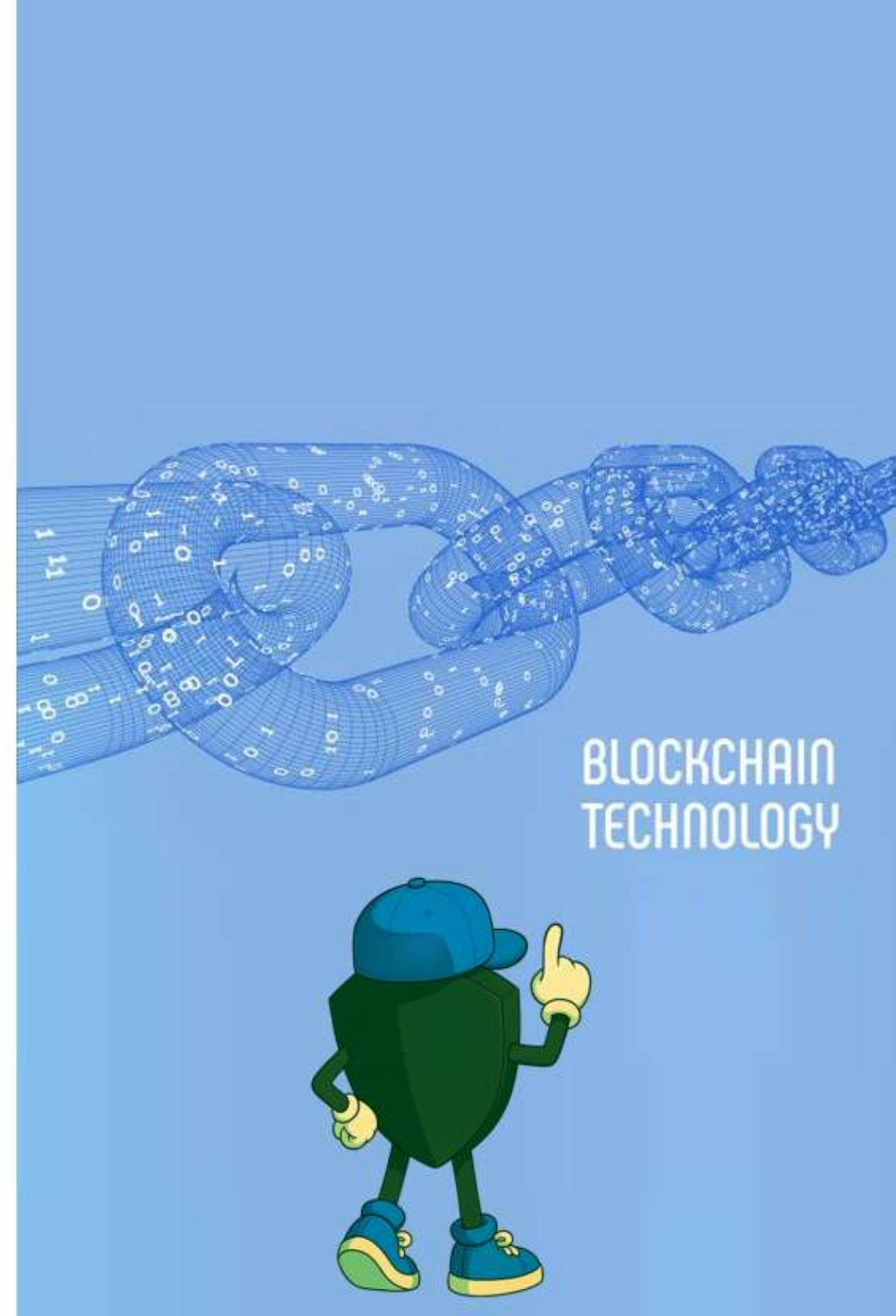
統合ハッシュ生成

それぞれのハッシュ値を統合し「最終ハッシュ」を生成します。

DFSCChainに記録

タイムスタンプと一緒に保存し、オリジナル証明書となります。

※ハッシュ(Hash)とは、
任意のデータから「固定長の文字列(ハッシュ値)」を生成する暗号技術のこと。



デジタル資産を守るためのUhalisiの技術②

決定論的AIとマルチモーダル分析

決定論的AI

- 同じ質問をしたとき、AIが毎回同じ答えを返します
- 中傷文の言い換えも本質を見抜きます
- 要約された盗用も検出可能です

マルチモーダル分析

- テキスト・画像・音声・動画を同じ空間で分析
- 形式が異なる関連コンテンツも検出
- 著作権侵害やなりすまし検知に有効

デジタル資産を守るためのUhalisiの技術③

UI構造フィンガープリント

構造分析

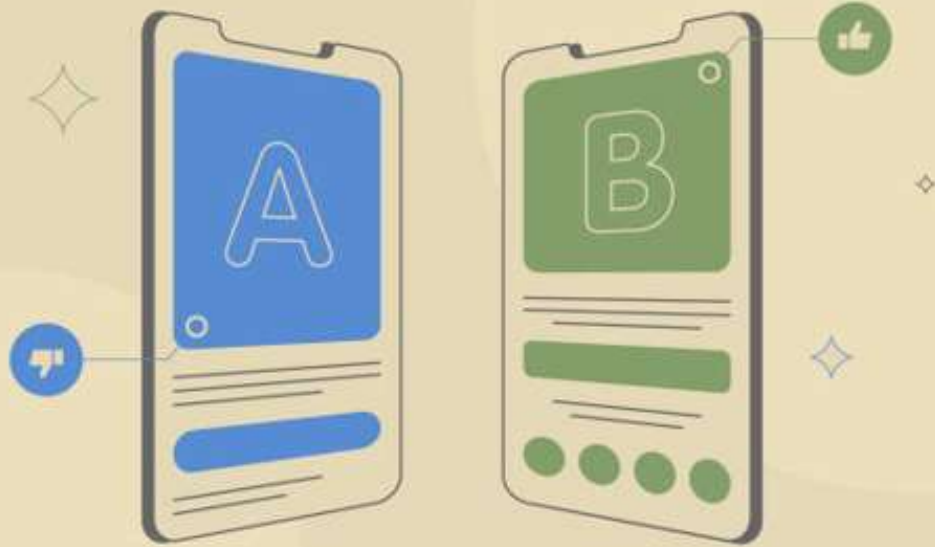
DOM構造、JavaScript動作、ボタン・フォームの位置など細部を分析します

フィンガープリント生成

構造情報から独自の「指紋」を生成します。

類似性検出

新しいサイトと比較し、表面的な変更があっても構造の類似性を検出します。



他とどうちがうの？

ふつうの著作権サービスは「勝手に使われたら報告するだけ」ですが、DFSCchainとつながったIP Guardianは、他とはどのように違うのか？





3つのちがい

■ 証明ができる



■ 早い・安い・簡単・便利



■ お金にもかえられる



という3つの違いがあります。

事業プランB

Reputation Shield × DFSCchain

デジタルレピュテーションを守る、Web2.5時代の”盾”

デジタルレピュテーションとは？
インターネットやデジタル空間における、個人・企業・プロダクトの評価・信頼・印象のこと。



Reputation Shield

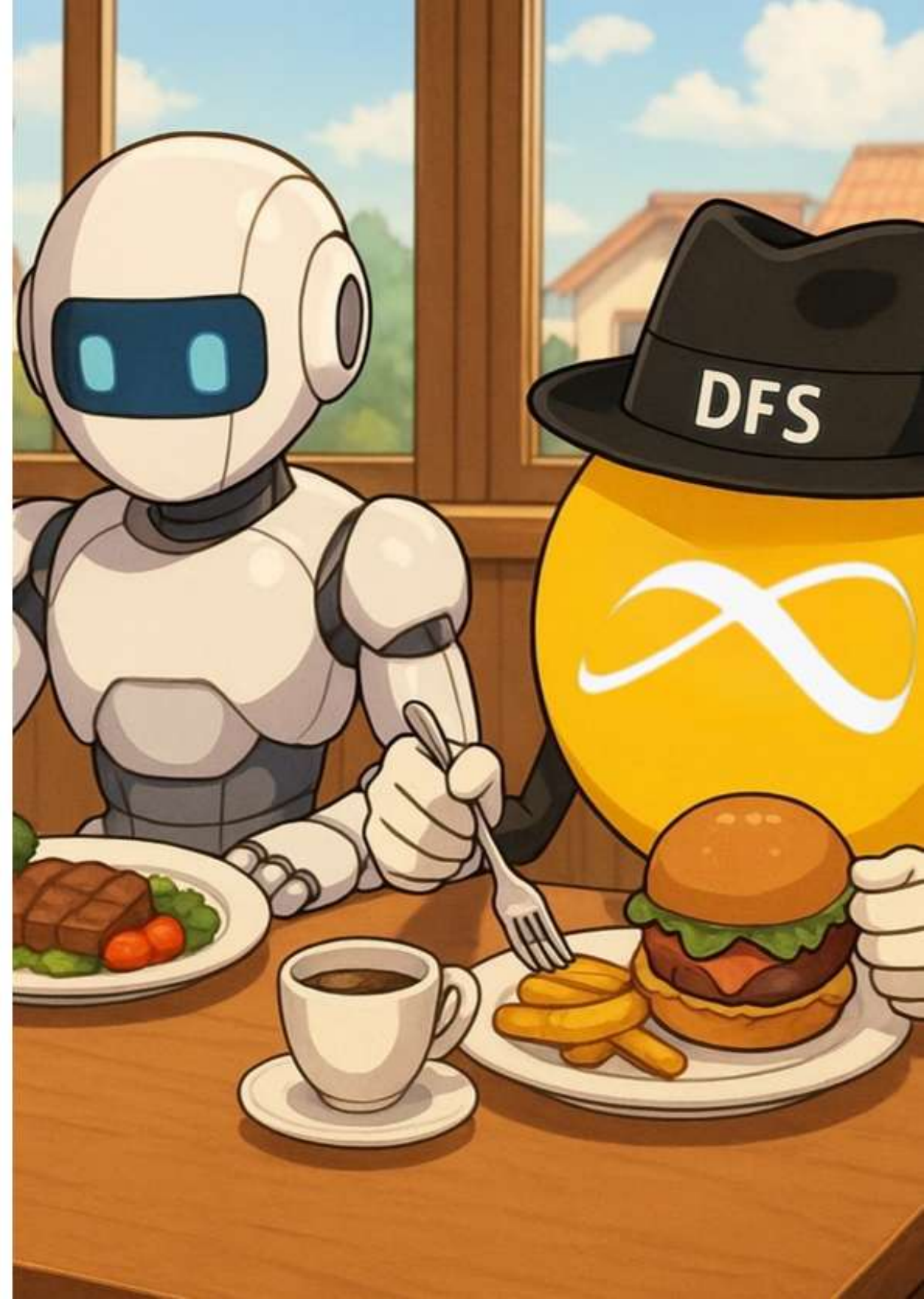
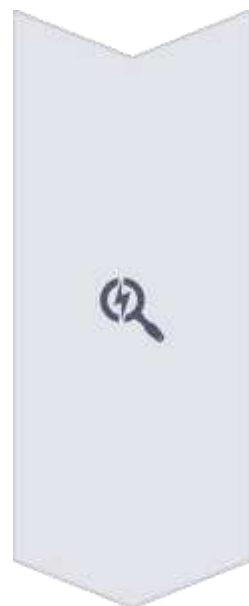


「Reputation Shield」は、
有名人やインフルエンサーが直面する フェイクニュー
ス・誹謗中傷・なりすましといった風評被害からブラ
ンドを守る、次世代のオンライン・レピュテーション管
理(ORM)サービスです。

DFSCChainとの統合による革新性

検出の信頼性強化（AI×DFSCChain）

- 意味解析(80%ルール)AIにより、SNSや掲示板を常時モニタリング
- 検出した投稿・証拠ログをDFSCChain上のコントラクトに自動記録(タイムスタンプ)し、「改ざん不可能な証拠」として保全



攻撃内容の透明性



トラッカブルな履歴

- 被害の発生と対応履歴をDFSCchain上で透明化・可視化
- 弁護士・法的対処チームと連携可能な、真正性あるレポートを即時に生成

トラッカブル(trackable)」とは
「追跡できる」「記録されている」「可視化されている」という意味



Web2.5対応の自己主権型管理



データ所有権

各ユーザーは自身のReputationデータの所有者として、アクセス権や開示権限を管理可能



プライバシー保護

真実を守り、同時にプライバシーも確保する自己主権型ORM



差別化ポイント

DFSChainによる「証拠の不可逆性」「透明性の確保」を実現することで、従来の
通報型・削除依頼型のORMとは一線を画す、“証明できる守り”を提供。



想定導入例

ケース1

有名俳優がSNS上のねつ造発言を即座に検出 → DFSCChainで記録 → 正確な報告書が自動生成 → 弁護士が対応開始

1

2

ケース2

拡散前の誹謗中傷ツイートをAIが発見 → システムが運営元へ即時対応要請 → 拡散防止

将来の可能性



広告収益

作品の使用から広告収入を得られるようになります。



ライセンス契約

正式なライセンス契約につなげることができます。



収益の拡大

作品の価値を最大限に活かします。

